

Kobe Music Festival

神戸国際芸術祭 2017

銀花の音色

Tomoko
Kawada



Kobe City Chamber Orchestra



Ensemble Raro

2006年より気鋭のチェリスト、ヘーデンボルク・直樹（現ウィーンフィル団員）の呼びかけで自身もメンバーであるピアノ四重奏団「アンサンブル・ラロ」を中心に、国内外の第一線で活躍する音楽家たちが集まり、神戸でしか聴けないアンサンブル演奏を市内3ヶ所で披露しています。今年も昨年も好評を博した神戸市室内合奏団との共演に加え、お馴染みのヴァイオリニスト川田知子さん、日本センチュリー交響楽団首席チェロ奏者、北口大輔さんをお迎えして至極の室内楽を皆さまにお届けします。



Daisuke Kitaguchi

2017.12月8日(金) ~ 12月10日(日)

12/8

(金)

開演14:00 (開場13:30)

ベートーヴェンからの贈り物

演目 L.v.ベートーヴェン: ピアノ三重奏曲 Op.11 「街の歌」
L.v.ベートーヴェン: ヴァイオリンソナタ Op.47 「クロイツェル」 弦楽五重奏版
会場 神戸市立北神地区センター ありまホール
料金 一般 2,500(前売2,000)円 大学生以下 1,000円(前売・当日とも)
神戸文化ホール友の会・神戸音楽友の会 2,000(前売1,600)円
出演 ピアノ四重奏団アンサンブル・ラロ、川田知子、北口大輔

12/9

(土)

開演15:00 (開場14:30)

至極のピアノ四重奏 ~ヴァスクス、ブラームスへの想い~

演目 J.ブラームス: ピアノ四重奏曲 ハ短調 Op.7
P.ヴァスクス: ピアノ四重奏曲
会場 シーサイドホテル 舞子ビラ神戸 あじさいホール
料金 一般 3,000(前売2,500)円 大学生以下 1,000円(前売・当日とも)
神戸文化ホール友の会・神戸音楽友の会 2,400(前売2,000)円
出演 ピアノ四重奏団アンサンブル・ラロ

12/10

(日)

開演15:00 (開場14:30)

ピアノ四重奏団
アンサンブル・ラロ with 神戸市室内合奏団

演目 G.エネスコ: 弦楽八重奏曲 ハ長調 Op.7
P.ヴァスクス: 「沈黙の果実」ピアノと弦楽合奏版
P.ヴァスクス: 「夏の夕暮れの音楽」ピアノ独奏
W.A.モーツァルト: ヴァイオリンとヴィオラのための協奏交響曲 変ホ長調 K.364
会場 神戸文化ホール 中ホール
料金 一般 4,000(前売3,500)円 大学生以下 1,500円(前売・当日とも)
神戸文化ホール友の会・神戸音楽友の会 3,200(前売2,800)円
出演 ピアノ四重奏団アンサンブル・ラロ、神戸市室内合奏団、北口大輔

※全席自由席 ※やむを得ず出演者・演目が変更となる場合がございます
※神戸文化ホール友の会・神戸音楽友の会チケットは神戸文化ホールプレイガイドのみでのお取り扱いになります

● チケット販売場所

チケット発売日 8月4日

- 神戸文化ホールプレイガイド TEL:078-351-3349
- ローソンチケット TEL:0570-084-005
- Lコード 12/8 (53513)
12/9 (53624)
12/10 (53626)
- チケットぴあ TEL:0570-02-9999
- Pコード 12/8 (336-713)
12/9 (336-714)
12/10 (336-716)



詳しくは、右記QRコード
またはホームページをご覧ください。

www.kobe-bunka.jp/news/kobemusicfestival2017

● 問い合わせ先

〈公財〉神戸市民文化振興財団

TEL:078-361-7241

Mail:kobemusicfestival@kobe-bunka.jp

主催: (公財)神戸市民文化振興財団

連携協力: 神戸大学大学院 国際文化科学研究推進センター(予定)

● 出演



ピアノ四重奏団 アンサンブル・ラロ
Ensemble Raro

2004年に結成。ヨーロッパにおける室内楽の豊かな伝統と、革新的なアプローチを結合したダイナミックなサウンドは、一度聴いた者を虜にする。アンサンブル・ラロの名前は、ロベルト・シューマンが音楽評論をする際に創り上げた架空の団体「ダヴィッド同盟」の一員、ラロ博士に由来している。結成以来、ヨーロッパ各地の音楽祭を中心に活躍し、大成功を収めている。中でもバイエルン放送により収録された演奏はNHKほか、世界各地で放送された。ウィーン・コンチェルトハウスに2度出演。そのほかカーネギーホール等にも招聘され、高い評価を得ている。



ダイアナ・ケトラー
Diana Ketler (ピアノ)



アレクサンダー・シトコヴェツキー
Alexander Sitkovetsky (ヴァイオリン)



ラズヴァン・ポポヴィッチ
Razvan Popovici (ヴィオラ)



ヘーデンボルグ・直樹
Bernhard Naoki Hedenborg (チェロ)



神戸市室内合奏団 12/10
Kobe City Chamber Orchestra

1981年設立。バロックから近現代までの幅広いレパートリーのほか、埋もれた興味深い作品にも意欲的に取り組み、質の高いアンサンブル活動を展開。1998年、ゲルハルト・ボッセを音楽監督に迎え、飛躍的な発展を遂げるとともに、2011年にはドイツ公演を行うなど、国際的にも注目を集めている。

2013年度からは、日本のアンサンブル界を牽引する岡山薫が音楽監督に就任し、更なる音楽的発展を目指し、新たな活動を展開している。

川田知子 12/8
Tomoko Kawada (ヴァイオリン)

東京藝術大学を首席卒業。1991年「第5回シェンブア国際コンクール」優勝。NHK交響楽団など様々な国内外のオーケストラにソリストとして共演。2003年度、第33回エックソンモービル音楽賞受賞、洋楽部門奨励賞受賞、ソリストとしての活動のほか、室内楽の演奏にも積極的に、神戸国際芸術祭には第1回の2006年より毎年出演している。

北口大輔 12/8, 12/10
Daisuke Kitaguchi (チェロ)

東京芸術大学音楽学部、同大学院修士課程修了。NHK-FM「ベストオブクラシック」「名曲リサイタル」「現代の音楽」「ブラボー!クラシック」への出演をはじめ、国内外の多数の音楽祭へ参加。ソリストとしてのオーケストラとの協演や幅広いレパートリーでのリサイタルも数多く、その演奏はいずれも高い評価を得ている。東京都交響楽団チェロ奏者、九州交響楽団首席チェロ奏者、同楽団首席客演チェロ奏者を歴任し、現在、日本センチュリー交響楽団首席チェロ奏者。また大阪音楽大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。